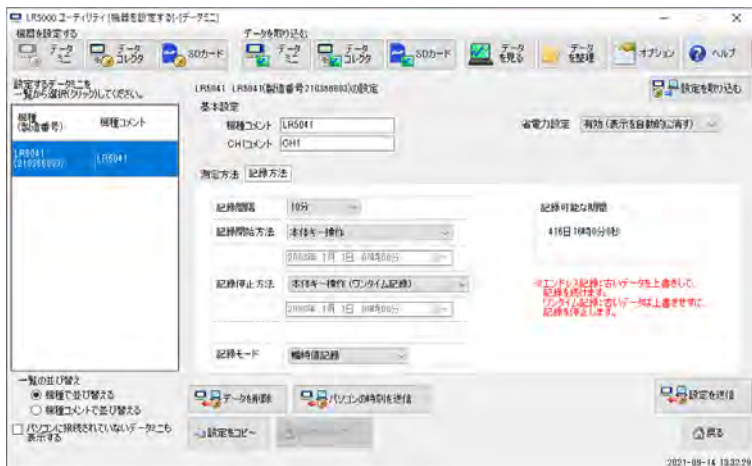


Environmental Measurement Japan

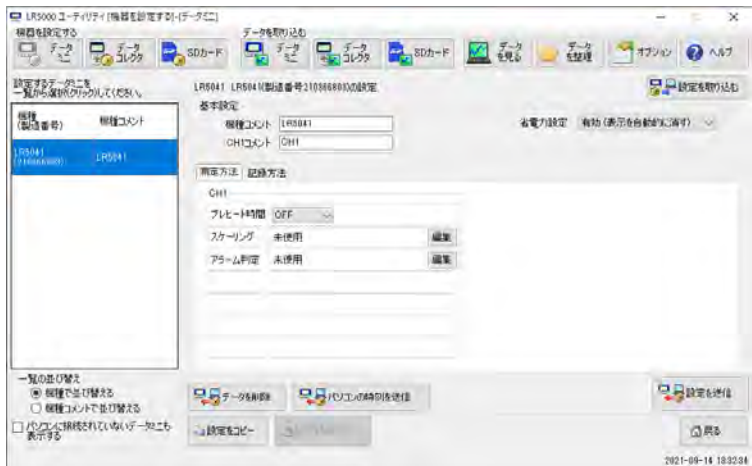
LR5041でダイレクトに酸素濃度を%表示させる方法

1. 大気中にテスターと繋げたMIJ-03をぶら下げるなどして10分～30分程度放置します。放置後にテスターで大気中の酸素濃度をメモします。

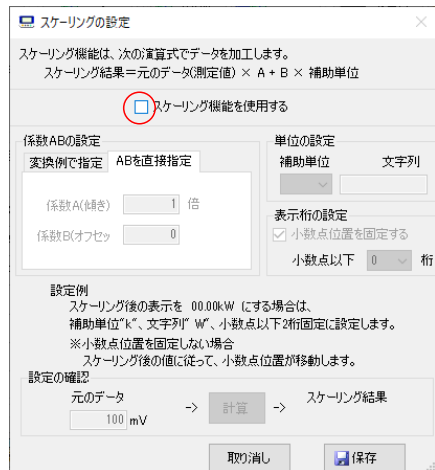
2. LR5041とPCを通信ケーブルで接続します。接続すると下記画面が表示されます。記録方法の横測定方法を選択して下さい。



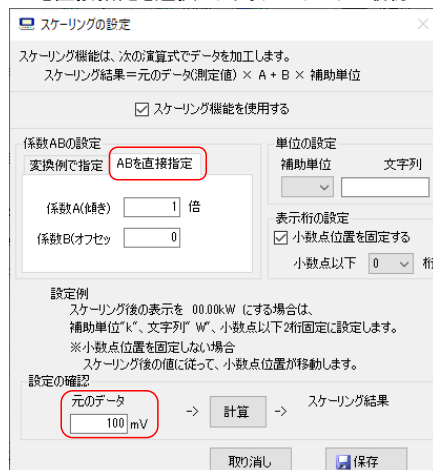
3. スケーリングが未使用になっていますので編集をクリックします。



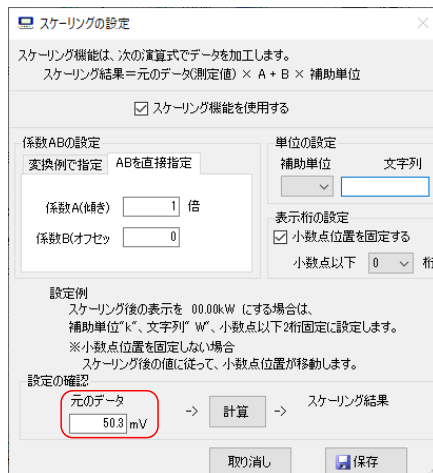
4. 編集を押すと下記画面が表示されます。スケール機能を使用するにチェックマークを入れます。



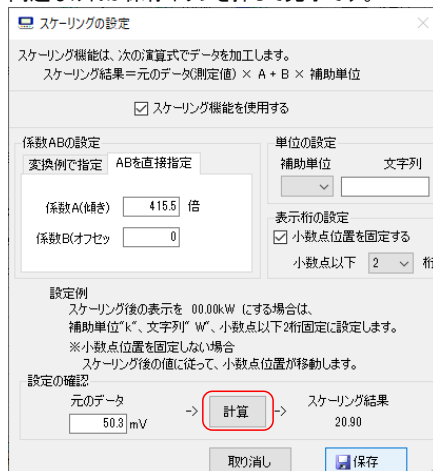
5. ABを直接指定を選択します。元のデータに最初にメモした値を入力します。



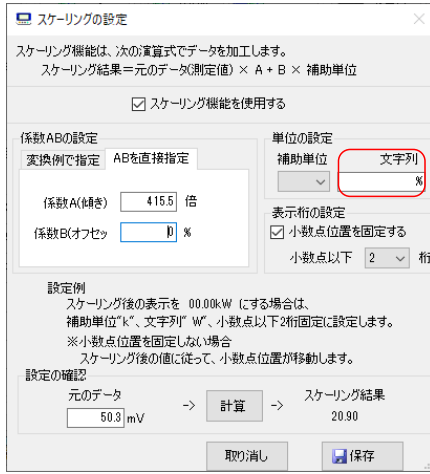
6. 例えば50.3mVが大気中の値だとすると50.3を入力します。



7. 次に係数を計算してします。LR5041では $Y=ax$ の式になりますのでシンプルに $20.9\% = a \times 50.3\text{mV}$ となります。 $a = 0.4155$ が係数になります。HIOKIの設定の癖ですが元データ部分はmV表示になっていますが係数設定がV表示になってしまっています。0.4155を素直に入力すると正確に演算できませんので1000倍した値を入力して下さい。ここでは415.5を入力して下さい。最後に計算ボタンを押して20.9が表示されるかを確認して下さい。問題なければ保存ボタンを押して完了です。



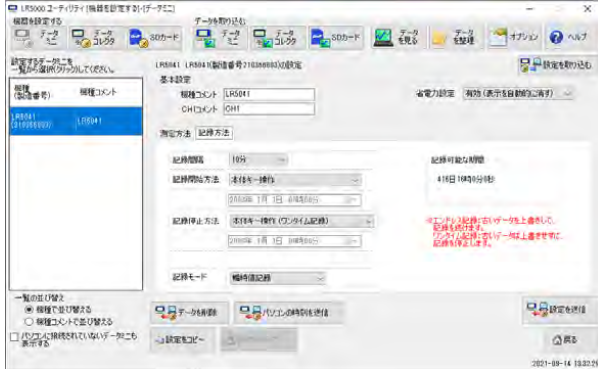
8. 文字列に%を入力して保存ボタンを押します。



11. %表示に設定することで酸素濃度を見たい時にLR5041の記録ボタンを一度押せば値が%で表示されますので表示器として使用することも可能です。



9. 最後に記録方法等を任意で設定して下さい。設定後に必ず[設定を送信]ボタンをクリックし終了です。



12. LR5041設定方法は弊社WEBサイトMIJ-12をご覧ください。
<https://environment.co.jp/emj-mij-12-waterproof-logger>

10. 全ての設定が終了したら動作確認を必ずして下さい。テスト計測はMIJ-03の穴に息を吹きかけるなどとするといでしょう。以下は計測間隔1秒でテストした結果です。

	A	B	C
1		項目番号	1
2		製造番号	210366803
3		機種コメント	LR5041
4		CHコメント	CH1
5		属性	瞬時値
6		単位	%
7		平均	20.1
8		最大	20.55
9		最小	19.83
10		積算	864.1
11	2021/9/14 13:49	13:49:58	20.55
12	2021/9/14 13:49	13:49:59	20.54
13	2021/9/14 13:50	13:50:00	20.53
14	2021/9/14 13:50	13:50:01	20.52
15	2021/9/14 13:50	13:50:02	20.5
16	2021/9/14 13:50	13:50:03	20.48
17	2021/9/14 13:50	13:50:04	20.45
18	2021/9/14 13:50	13:50:05	20.42
19	2021/9/14 13:50	13:50:06	20.38
20	2021/9/14 13:50	13:50:07	20.36
21	2021/9/14 13:50	13:50:08	20.32
22	2021/9/14 13:50	13:50:09	20.28
23	2021/9/14 13:50	13:50:10	20.24
24	2021/9/14 13:50	13:50:11	20.2
25	2021/9/14 13:50	13:50:12	20.17
26	2021/9/14 13:50	13:50:13	20.13



Environmental Measurement Japan
 日本環境計測株式会社
 〒811-0215
 福岡県高美台二丁目52番42号
 TEL:092-608-6412
 FAX:092-985-7844

